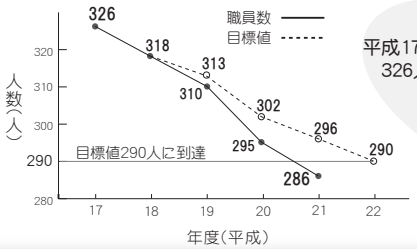
◎職員数の推移と目標値（平成17～22年度）



平成17年度 326人 ▶▶ 平成21年度 286人

40人の削減

※目標値290人に到達済

◎課、係の統合

平成17年４月
26課 59係

▼

平成21年４月
24課 55係

２課 ４係の削減

●課、係の統廃合を行い、平成21年４月現在、24課55係の組織機構体制

5 定員管理の適正化

「定員適正化計画」の目標に基づいて、組織機構の簡素化や事務事業の整理、行政の仕事の範囲の見直しと市民協働・民間委託等を推進しました。また、新規職員採用を抑え、計画的な職員数の削減を行いました。

職員数削減の具体的な目標は、平成22年４月１日の職員数を、平成17年４月１日の３２６人に比べ、36人少ない２９０人（削減率11％）にするという目標でしたが、平成21年４月１日現在で職員数２８６人、削減数40人（削減率１２・３％）となり、既に目標値を上回っています。今後も、計画的な職員数の削減に努めます。

6 職員給与等の削減

◎市長等給与の削減

●平成18年度から市長10％→20％、助役（現副市長）５％→10％、教育長５％→８％にそれぞれ削減幅を拡大

●更に、平成20年度からそれぞれ２％をカットに上乗せ…市長20％→22％、副市長10％→12％、教育長８％→10％カット

◎市議会議員定数削減による報酬総額の削減等※議員発議

●市議会議員定数を４名削減し（22名から18名）、報酬総額を削減（平成19年５月から）

●政務調査費及び特別委員会費用弁償の廃止(平成19年４月から)

●更に、議員報酬の２％カット(平成21年４月から)

◎農業委員定数削減による報酬総額の削減（18名から14名に４名削減）

◎職員給与等の削減

●職員給与削減（一律５％カット）の継続、平成20年４月から２～７％カット（級別）

●給与構造改革の実施(給料表の見直し、平均４・８％減額)

●給与構造改革に対応する能力給・勤務評定制度の導入(管理職の勤務成績による昇給、勤勉手当の支給額への反映)…**県下で初めての実施**

●級別標準職務基準表の見直し

●管理職手当の削減（６割カットし４％支給）

●通勤手当の見直し…通勤距離２キロ未満の支給廃止

■電子自治体の推進

●財務会計システムの導入

●電子入札制度の導入

■市民協働の推進

●市民総ぐるみの交通安全立哨活動…高齢化に伴い、高齢者の交通事故が多発傾向にあることや、児童生徒を交通事故から守るため、春、夏、秋及び年末年始の交通安全運動期間中に、各事業所の協力による市民総ぐるみの立哨活動を行いました。

◎食育推進事業

食に関する「食の祭典」「食育講演会」「魚のさばき方教室」などや「枕崎版食事バランスガイド」「枕崎の食べ物歳時記」「食の地元学レシピ集」の作成など、地産地消や食に関するさまざまな活動を行いました。

◎河川環境浄化プロジェクト

ライフスタイルや住環境の変化、本市の産業形態による環境問題に取り組むため、河川等へのＥＭ菌（有用微生物群）を利用した団子の投入、家庭や事業所等からＥＭ菌活性化液を流し、水質浄化を推進しました。

◎問合せ

総務課行政改革推進係
℡７２-１１１１ 内線２１０・４００

行政トピックス

①給食センターの本市単独での建設
②フェリー「みしま」の３年間の実証運航開始
③南薩縦貫道の整備に向けた要望活動
④花渡川改修（金山・滑川橋から下流の改修）
⑤湯穴谷川改修と防災ダム
⑥打木谷・白沢津線（中原地区）の改修
⑦馬追川下流域の全面改修
⑧国道225号峯尾峠入口の改修

安全で安心な市民の暮らしや地元経済活性化に 約9億円

■市では、国の交付金等を活用し、市民の皆さんが安心して安全に生活できるよう、また、市の経済を活性化し、枕崎の元気を取り戻すため、総額約９億円にのぼるさまざまな事業に取り組んでいます。これまでの主な取り組みを紹介します。

1 市民生活を応援する事業

【日常生活への支援】

①定額給付金の交付

１人１２，０００円（18歳以下と65歳以上は１人２０，０００円）を支給し、日常生活を支援するものです。

【子育てへの支援】

②子育て応援特別手当の交付

子どもの多い家庭の経済負担を軽減するため、第２子以降（平成14年４月２日～平成17年４月１日までの間に生まれた子どもが対象）１人当たり３６，０００円を支給するものです。

③学校給食費の一部補助

食材費高騰による給食費の値上がりによる子育て世帯の経済負担を軽減するため、全ての児童・生徒を対象に給食費の一部（１人当たり１か月分）を補助するものです。

④保育所の施設整備等への補助

子どもを持つ親が安心して子育てできる環境を整えるため、施設の整備等を行う保育所に対し施設整備等に必要な経費の一部を補助するものです。

2 働く場を確保する事業

①緊急的な雇用の機会の確保（緊急雇用創出事業臨時特例基金事業）

雇用情勢の悪化から離職を余儀なくされた失業者等に対して、短期（６か月以内）の働く機会を提供し、失業者等の経済的安定等を図るものです。

②ふるさと雇用再生特別基金事業

3 市の経済・産業を活性化する事業

①プレミアム付き商品券発行への補助

地元での消費拡大と市内の商店街の活性化を図るため、商工会議所が行うプレミアム（１割）付き商品券の発行に対し、プレミアム部分の費用を補助するものです。

なお、プレミアム付き商品券の発行は、第１次(３，０００セット…４月23日～)、第２次(５，０００セット…７月１日～)にわたり実施しています。

②飼料生産対策事業(有機性資源飼料化事業)

③水産加工施設の整備（水産業強化対策施設整備事業）

4 安心で安全な暮らしを実現するための事業

【子どもたちの安全・安心】

①小中学校の耐震診断等の実施

地震などの災害に備え、市内の小中学校の校舎等の耐震診断、補強のための設計及び危険校舎の解体等を実施し、子どもたちが安全で安心して学べる環境を整えるものです。

②公園施設等の整備

台場公園の幼児用プールの改修や、各公園の遊具施設等の補修などを行うものです。

③通学路灯の設置（市内20か所）

④学校給食施設等整備事業

【日常生活の安全・安心】

⑤消防施設・設備等の充実

市民の生命、財産を火災等から守り、安心・安全な生活環境を整えるものです。

内容…防火水槽の設置、水槽付消防ポンプ自動車等や小型ポンプ、消火ホースの購入

⑥市道等の整備・改修（市内一円）

安全・安心で快適な生活環境を整備するため、側溝の整備や側溝のふたの設置等を行うものです。

5 交流の促進による地域活性化を図るための事業

①駅前観光案内所の整備

本市を訪れた観光客や枕崎駅の利用者等の休憩所・憩いの場として、また、本市の特産品や観光スポットなどの情報を発信する場所として、枕崎駅前広場に観光案内所を設置するものです。

②火之神公園の整備

なお、市では、安全で安心な暮らしの実現や地元経済の活性化等に向け、今後とも様々な事業を実施する計画です。

◎問合せ 企画調整課
℡７２-１１１１ 内線２２５

◎安全・安心な暮らし、経済活性化事業

（※事業費は予算額）

1 市民生活を応援する事業(４億5,087万円)
①定額給付金の交付
②子育て応援特別手当の交付
③学校給食費の一部補助
④保育所の施設整備等への補助

2 働く場を確保する事業 (1,764万６千円)
①緊急的な雇用の機会の確保(緊急雇用創出事業臨時特例基金事業)
②ふるさと雇用再生特別基金事業

3 市の経済・産業を活性化する事業 (１億825万円)
①プレミアム付き商品券発行への補助
②飼料生産対策事業(有機性資源飼料化事業)
③水産加工施設の整備(水産業強化対策施設整備事業)

4 安心で安全な暮らしを実現するための事業 (２億8,642万３千円)
①小中学校の耐震診断等の実施
②公園施設等の整備
③通学路灯の設置(市内20か所)
④学校給食施設等整備事業
⑤消防施設・設備等の充実
⑥市道等の整備・改修(市内一円)

5 交流の促進による地域活性化を図るための事業 (3,110万円)
①駅前観光案内所の整備
②火之神公園の整備

※各事業の内容は本文をご覧ください。

◎その他の特色ある事業(本年度)

・妊婦健診(公費負担回数を５回から14回に増)	1,653万6千円
・小中学校扇風機設置工事(全校設置)	449万1千円
・県市町村課派遣研修旅費	151万2千円
・小中一貫教育推進事業	28万6千円
・保育料軽減対策事業	493万1千円
・幼稚園就園奨励費	30万5千円
・奨学資金貸付金(貸付枠の拡充)	3,200万円
・特別支援教育支援員配置事業	203万3千円